

美濃焼の“これから”を考えます

陶磁器試験場(☎598312)

極めた者だけが知る「黒」の深み。

今月は、深みのある黒が特徴的な陶器、『引き出し黒』を紹介します。



引き出し黒は桃山時代に誕生した伝統的な美濃焼の一つで、その技法は驚きの方法である。一般的に陶磁器は窯で焼成後そのまま冷却するのだが、この引き出し黒は違う。なんと、1,200℃近くまで達している焼成中の窯から真っ赤に燃えている状態のうつわをはさみで引き出し、そのまま水につけて急冷するのだ。なぜ、そんな危険なことを行うのだろうか。それは急冷することで、うつわに施された鉄釉が深みのある重厚な黒を発色するからである。

薪の灰が多くかかる前面は釉薬が溶けて艶やか^{つや}に、反対側と内側は釉薬が溶けきらずに縮れて、粒状の梅花皮肌^{かいらぎ}になる。同じ窯で同じ焼き方をして一つ一つ違う表情となるため、それがまた面白い。

TOTTOKI作品は陶磁器試験場で
展示しています。

『引き出し黒』

荘山窯(下石町)
林亮次 さん



市長の部屋から

11月6日(日)



今年で28回目となります、土岐市福祉まつりが盛大に開催できますことを心よりうれしく思います。また、本日は素晴らしい晴天に恵まれ、ひとえに皆さんの心掛けの賜物だと思います。

この福祉まつりは、社会のために頑張っていこうという市民の方が集まり、ボランティア精神を社会に浸透させたいという思いで取り組んでいただいております。皆さんの力で、ますます住みやすい土岐市となりますように、そしてますますボランティアの輪や精神が広がりますように心からお祈り申し上げます。

土岐市長 加藤靖也

ウエルフェア土岐で「第28回土岐市福祉まつり」が開催されました。祭りには41の団体が参加し、作品の展示や、バザー、演奏、各種啓発などが行われ、訪れた市民らでにぎわいました。

